

NY マーケットレポート (2015 年 2 月 17 日)

NY 市場では、序盤に発表された製造業関連や住宅関連の米経済指標が市場予想を下回る結果となったものの、米長期債利回りが上昇となり、日米金利差拡大が意識されたことや、日本政府が円安を容認しているとの見方を背景に、ドル買い・円売りが優勢となった。また、ユーロ圏財務相会合で決裂となったギリシャ支援協議に関して、ギリシャのツィプラス政権が救済プログラムの延長申請する可能性があるとの報道を受けて、協議が進展するとの期待からユーロの買い戻しも見られ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

2015/2/17 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.53	118.65	118.24
EUR/JPY	134.55	134.79	133.93
GBP/JPY	182.07	182.42	181.59
AUD/JPY	92.43	92.57	91.60
EUR/USD	1.1352	1.1367	1.1323

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.93	118.48
EUR/JPY	135.95	134.42
GBP/JPY	183.12	181.94
AUD/JPY	93.04	92.29
EUR/USD	1.1449	1.1337

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17987.09	-17.68
ハンセン指数	24784.88	+58.35
上海総合	3246.91	+24.54
韓国総合指数	1961.45	+3.22
豪ASX200	5858.21	-30.45
インドSENSEX指数	29135.88	+40.95
シンガポールST指数	3415.91	-11.25

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6898.13	+41.08
仏CAC40	4753.99	+2.04
独DAX	10895.62	-27.61
ST欧州600	377.02	+0.47
西IBEX35指数	10698.00	+8.50
伊FTSE MIB指数	21266.25	+100.41
南ア 全株指数	52833.48	-162.41

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.30	119.42	118.68
EUR/JPY	136.15	136.23	135.45
GBP/JPY	183.18	183.40	182.20
AUD/JPY	93.24	93.37	92.71
NZD/JPY	89.95	90.11	89.27
EUR/USD	1.1415	1.1432	1.1381
AUD/USD	0.7816	0.7829	0.7788

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18047.58	+28.23
S&P500	2100.34	+3.35
NASDAQ	4899.27	+5.43
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15284.61	+19.80
ブラジルボルサ指数	43251.79	+292.23
ボネスバ指数	休 場	

*ブラジル市場はCarnivalで休場

2/18 経済指標スケジュール
08:00 【豪】12月コンファレンスボード景気先行指数
08:30 【豪】1月ウエストバック先行指数
12:00 【日】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
15:00 【日】1月工作機械受注
17:00 【南ア】1月消費者物価指数
18:30 【英】英中銀 議事録
18:30 【英】1月失業者数推移
18:30 【英】12月ILO失業率[四半期]
19:00 【欧】12月建設支出
19:00 【スイス】2月ZEW景況感調査
20:00 【南ア】12月実質小売売上高
21:00 【米】MBA住宅ローン申請指数
22:00 【ポーランド】1月生産者物価指数
22:00 【ポーランド】1月小売売上高
22:30 【米】1月生産者物価指数
22:30 【米】1月住宅着工件数
22:30 【米】1月建設許可件数
22:30 【カナダ】12月卸売売上高
04:00 【米】FOMC議事録公表

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1208.60	-18.50
NY 原油	53.53	+0.57
CMEコーン	397.75	+2.50
CBOT 大豆	1011.75	+17.00

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.66%	0.64%
3年債	1.08%	1.04%
5年債	1.60%	1.53%
7年債	1.94%	1.85%
10年債	2.14%	2.04%
30年債	2.72%	2.64%

2/18 主要会議・講演・その他予定

- ・日銀金融政策決定会合
- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・パウエルFRB理事 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

22:00

ドル/円 118.77 ユーロ/円 135.70 ユーロ/ドル 1.1426

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6882.46	+25.41	ダウ INDEX FUTURE	17985	+3
仏 CAC40	4762.15	+10.20	S&P500 FUTURE	2092.30	-1.20
独 DAX	10910.44	-12.79	NASDAQ FUTURE	4384.00	+7.00

(出所: SBILM)

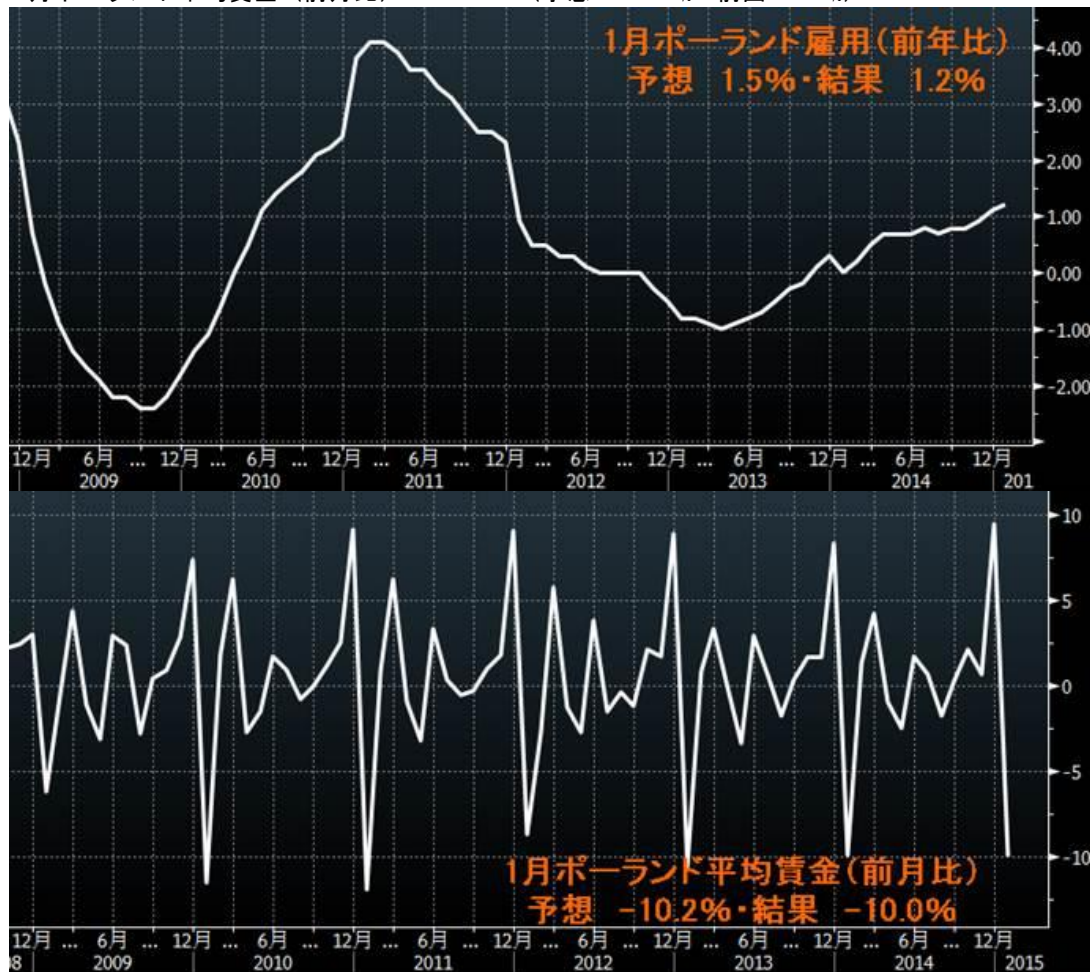
22:00

《 経済指標の結果 》

1 月ポーランド雇用 (前月比) 0.4% (予想 0.7%・前回 0.0%)

1 月ポーランド雇用 (前年比) 1.2% (予想 1.5%・前回 1.1%)

1 月ポーランド平均賃金 (前月比) -10.0% (予想 -10.2%・前回 9.4%)



(出所: ブルームバーグ)

22:20

《 要人発言 》

デイスルブルム・ユーログループ議長～記者団に話した

- ・「ギリシャ協議は数日中に継続へ」

22:28

《 要人発言 》

シヨイブレ独財務相

- ・「ギリシャの状況は芳しくない」
- ・「ギリシャが何を望んでいるのか疑念が深まった」
- ・「ユーロ圏にとどまりたいかどうかはギリシャ政府次第」

22:30

《 経済指標の結果 》

2月ニューヨーク連銀製造業景気指数 7.78 (予想 8.50・前回 9.95)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《 NY連銀製造業景気指数 》

現状)

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
業況	7.78	9.95	-1.23	10.33	8.55	27.41
仕入価格	14.61	12.63	10.42	10.64	11.36	23.91
販売価格	3.37	12.63	6.25	0.00	6.82	17.39
新規受注	1.22	6.09	0.39	9.12	-1.01	16.35
出荷	14.12	29.59	2.55	10.61	2.67	23.24
在庫	-2.25	-7.37	-11.46	0.00	2.27	-7.61
雇用者数	10.11	3.68	8.33	8.51	10.23	3.26

6ヵ月先の見通し)

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
業況	25.58	48.35	39.31	46.84	42.39	46.08
仕入価格	26.97	33.68	40.63	41.49	42.05	32.61
販売価格	5.62	15.79	32.29	25.53	26.14	32.61
新規受注	28.61	41.44	38.85	47.69	43.24	45.35
出荷	30.34	40.57	37.75	44.78	43.07	46.64
在庫	-4.49	1.05	9.38	4.26	2.27	4.35
雇用者数	24.72	31.58	20.83	24.47	12.50	14.13

同指標はゼロが景況の分岐を示す

22 : 30

《 経済指標の結果 》

12月カナダ国際証券取扱高 -135.5億CAD（前回 42.9億CAD）



23 : 00

《 経済指標の結果 》

1月カナダ中古住宅販売件数（前月比） -3.1%（前回 -5.8%）



23 : 25

《 要人発言 》

ツイプラス・ギリシャ首相～与党議員らに演説

- ・「ギリシャを植民地扱いすることがあってはならない」
- ・「ギリシャは債務の罠から抜け出せる」
- ・「ギリシャ政府は先を急がず、妥協はしない」
- ・「解決策は見つかると楽観している」

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17991.19	-28.16
ナスダック	4891.30	-2.54

(出所:SBILM)

0 : 00

《 経済指標の結果 》

2 月米 NAHB 住宅市場指数 55 (予想 58・前回 57)



指標結果データ

《 NAHB 住宅市場指数 》

2 月・1 月・12 月・11 月・10 月・9 月・8 月

住宅市場指数・55・57・58・58・54・59・55

現状指数・61・62・62・62・57・63・58

見通し指数・60・60・64・66・64・67・65

顧客動向指数・39・44・46・45・41・47・42

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米製造業景況指数などが市場予想を下回ったことを受けて、主要株値は売りが先行した。また、ユーロ圏財務相会合でギリシャ支援協議が物別れとなったことや、ウクライナ情勢の不透明感も圧迫材料となった。

《 経済指標のポイント 》

(1) 2 月のニューヨーク連銀製造業景況指数は 7.78 (前月 9.95) となり、市場予想の 8.5 を下回る結果となった。項目別では、仕入れ価格指数が 14.61 (前月 12.63)、週平均労働時間が -1.12 (-8.42)、在庫が -2.25 (-7.37) と前月から改善したものの、新規受注は 1.22 (6.09)、雇用者数は 10.11 (13.68)、販売価格は 3.37 (12.63)、出荷は 14.12 (29.59) と前月から低下した。また、6 ヶ月先の見通しを示す期待指数は 25.58 (前月 48.35) に下げた。当該指数は、ゼロが景況の拡大と縮小の判断基準となる。

(2) 2 月の NAHB (全米ホームビルダー協会) 住宅市場指数は、55 となり、市場予想の 58 を下回り、前月の 57 から低下した。見通し指数は 60 (前月 60) と前月から横ばいとなったものの、現状指数が 61 (62)、顧客動向指数が 39 (44) と前月から低下した。当該指数は、50 を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

《 ポイント 》

ギリシャのバルファキス財務相はユーロ圏側が求めた現行の救済プログラムの延長申請を拒否。会合は唐突に終わった。ユーロ圏財務相会合 (ユーログループ) 議長のデイスルブルム・オランダ財務相は会合を中断し、ギリシャが考えを変えた場合は 20 日に再開すると宣言した。

ギリシャとユーロ圏の財務相の会合が合意に至らず決裂したことを受け、ギリシャがユーロ圏を離脱するリスクが高まった。ドイツの大手銀行では、その確率は 25% から 50% に上昇したと見積もっている。現行プログラムは 2 月末で終了するため、早急に合意ができないとギリシャのユーロ離脱が現実味を増す。

今後のギリシャ関連の日程

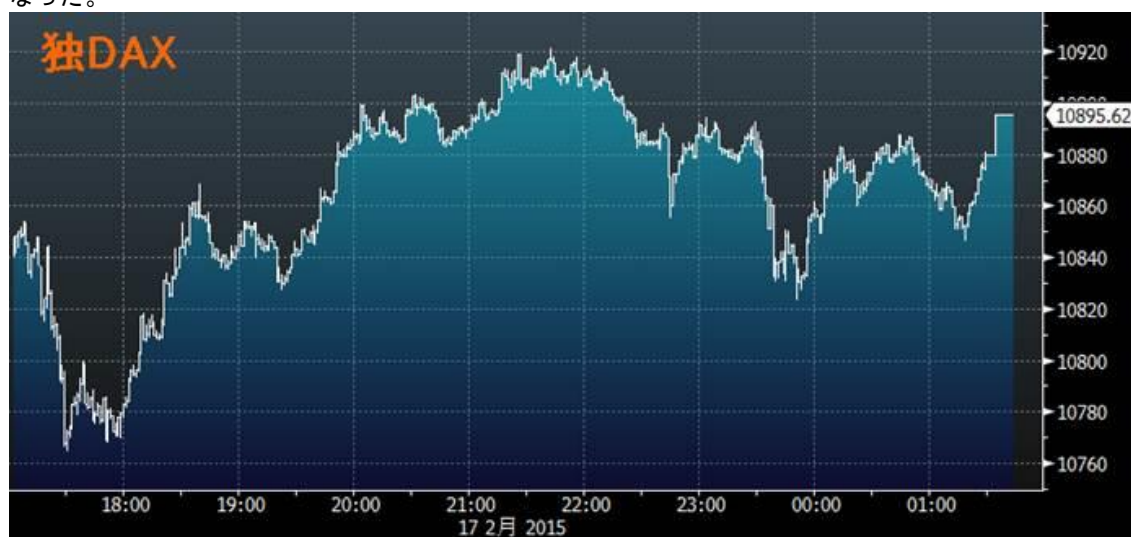
- 18日：ギリシャ大統領選挙の投票が開始される可能性
- 18日：ELAに関する ECB の2週間に1回の見直し
- 20日：ギリシャが救済プログラム延長を申請する期限
- 20日：ギリシャ協議でユーログループが緊急会合を開く可能性
- 24日：ギリシャ債務5億9500万ユーロの元本・利払いの期限～ドイツ銀
- 28日：現行の EFSF プログラムが終了

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6898.13	+41.08
仏 CAC40	4753.99	+2.04
独 DAX	10895.62	-27.61
ストック欧州 600 指数	377.02	+0.47
ユーロファースト 300 指数	1504.86	+2.76
スペイン IBEX35 指数	10698.00	+8.50
イタリア FTSE MIB 指数	21266.25	+100.41
南ア アフリカ全株指数	52833.48	-162.41

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、英国の緩和的な金融政策が当面続くとの見方で買われた。一方、独 DAX は、16日のギリシャ支援をめぐるユーロ圏財務相会合での協議が決裂したことが嫌気され、小幅安となった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 18001.28 (-18.07)、 S&P500 2095.00 (-1.99)、 ナスダック 4891.75 (-2.09)

《欧州のポイント》

①1月の英消費者物価指数は、前年同月比で+0.3%となり、伸び率は1989年の統計開始以来最小となった。原油安によるエネルギー価格の下落が、物価上昇を抑えた。輸送のほか、食料品も低下し、指数全体を押し下げた。半面、衣料品やレストラン・ホテルは上昇した。昨年12月の消費者物価指数の伸びは+0.5%だった。英中銀の設定する2%のインフレ目標を大きく下回る状況が続いている。BOEは、原油安を背景に消費者物価指数の上昇率がマイナスに転じる可能性があるとして予想している。

②2月のZEW独景況感指数は、期待指数が53.0と前月の48.4から上昇となり、1年ぶりの高水準に達した。ドイツ経済は2014年10-12月期に成長が加速。原油相場下落とユーロ安に加えECBが来月からQEを開始しようとしていることで、ドイツの景況感はギリシャ危機からのリスクの高まりにもかかわらず堅調を維持した。現状指数は45.5と1月の22.4から上昇。ユーロ圏についての期待指数も52.7と前月の45.2を上回った。

③1月のスウェーデン消費者物価指数は、前年比-0.2%と、市場予想-0.3%を下回る低下となった。短期的にスウェーデン中銀の追加緩和への圧力を弱める格好となった。スウェーデン中銀は、先週デフレの脅威に対抗するため、政策金利のレポレートを0から-0.1%に引き下げ、国債買い入れ策を発表した。金利変動の影響を除いた基調的な消費者物価指数は前月比-1.0%（市場予想-1.1%）、前年比+0.6%（+0.5%）となった。

④1月のギリシャ消費者物価指数は、前年比-2.8%と、12月の-2.6%から下落幅が拡大した。EU基準も-2.8%と、12月の-2.5%から下落幅が広がった。ギリシャでは賃下げや年金削減、深刻な景気後退などを背景に、過去23ヵ月にわたりデフレが続いている。

2:15

スイス中銀総裁

- ・「フランは依然として著しく過大評価されている」
- ・「スイス中銀は、必要とあれば為替市場で活発な姿勢を維持する」



《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米FRBが今年6月にも利上げを開始するとの警戒感で売りが先行した。ユーロ圏財務相会合でギリシャ金融支援に関する協議が物別れに終わったことが材料視され、安全資産とされる米国債に逃避的な買いが入る場面もあった。

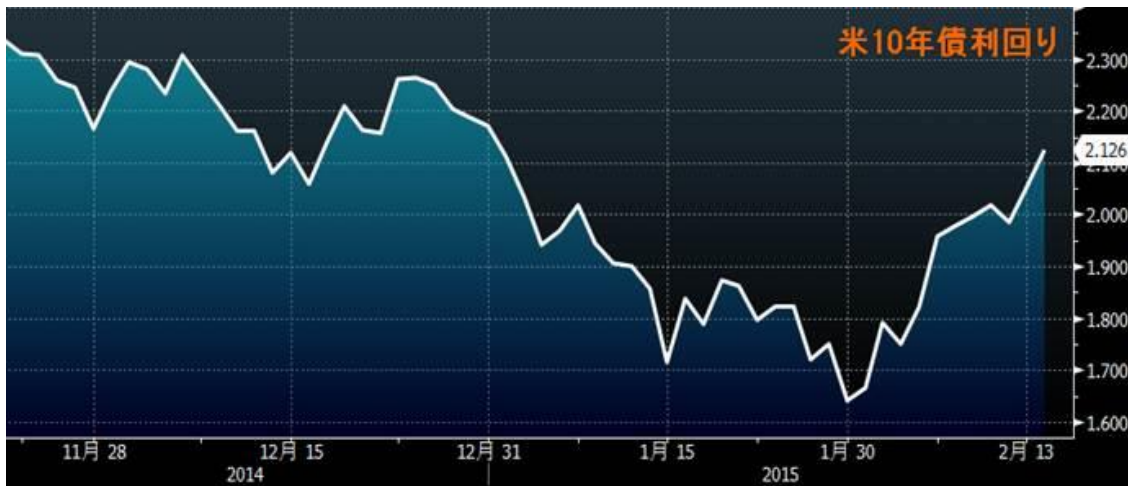
午前の利回りは、30年債が2.68%（前週末2.65%）、10年債が2.08%（2.05%）、7年債が1.89%（1.86%）、5年債が1.57%（1.54%）、3年債が1.07%（1.04%）、2年債が0.66%（0.64%）。

2:33

ギリシャは、6ヵ月の融資合意延長を18日検討～関係者

3:00

米10年債利回りが7週間ぶりの高水準に上昇。



(出所:ブルームバーグ)

4 : 45

NY 金は、中心限月が前週末比 18.50 ドル安の 1 オンス=1208.60 ドルで取引を終了した。

5 : 35

NY 原油は、中心限月が前日比 0.57 ドル高の 1 バレル=53.53 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1208.60	-18.50
NY 原油	53.53	+0.57

(出所:SBILM)

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、ギリシャ金融支援をめぐる協議が決裂したが、最終的には解決に向けて話し合いが前進するとの期待から比較的安全な資産とされる金売られた。また、中国市場が春節の連休に入るため、実需の買いが減るとの見方も圧迫材料となった。終値ベースでは、1月上旬以来 約 1 カ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、エジプト軍がリビアの過激派組織の拠点を空爆したことなどが原油供給に悪影響を及ぼすとの不安から買いが優勢となった。ただ、米国の供給過剰に対する根強い懸念を背景に売られる場面もあった。終値ベースでは、昨年12月下旬以来、約1ヵ月半ぶりの高値水準となった。



主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18047.58	+28.23	18052.01	17951.41
S&P500 種	2100.34	+3.35	2101.30	2089.80
ナスダック	4899.27	+5.43	4901.89	4880.64

(出所:SBILM)

《 米株式市場 》

米株式市場は、米製造業景況指数などが市場予想を下回ったことを受けて、主要株価は売りが先行した。また、ユーロ圏財務相会合でギリシャ支援協議が物別れとなったことや、ウクライナ情勢の不透明感も圧迫材料となった。ただ、その後は下げ幅を縮小する動きが続き、終盤にはプラス圏まで値を戻す動きとなった。ダウ平均株価は、序盤は軟調な動きとなり、前週末比で67ドル安まで下落したものの、終盤にはプラス圏まで上昇する動きとなった。



主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.30	119.42	118.68
EUR/JPY	136.15	136.23	135.45
GBP/JPY	183.18	183.40	182.20
AUD/JPY	93.24	93.37	92.71
NZD/JPY	89.95	90.11	89.27
EUR/USD	1.1415	1.1432	1.1381
AUD/USD	0.7816	0.7829	0.7788

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が予想を下回る結果となったものの、ギリシャ支援協議に対する楽観的な見方が広がったことや、米長期債利回りが上昇となり、ドル買い円売りが優勢となったことから、ドル円・クロス円は終盤にかけて堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。